



今回の表紙は
笹渡保育園

3月24日に笹渡保育園では、卒園式と閉園式が行われました。令和3年度は2人の園児が卒園。3年度で笹渡保育園が閉園となることから、笹渡保育園最後の卒園児となりました。思い出がいっぱい詰まった笹渡保育園に、園児全員で笑顔でさよならをしました。

主な内容

📁 特集 (予算)

令和4年度予算を可決

2

📁 3月定例会 3月定例会の概要

4

📁 3月定例会 一般質問に8人登壇

13

📁 マイファミリー 我が家のアイドルを紹介します。

22





春夏秋冬 賑わう事業に

3月定例会（第27回定例会）は、2月28日から3月14日までの15日間の会期で開かれ、固定資産評価審査委員会の委員の選任、農業委員会の委員の任命への同意11件、人権擁護委員の推薦2件、令和4年度一般会計予算など議案14件すべてを可決しました。

コロナ禍の中、町のイベントをどう開催していくのか。今回の特集では、町の観光施設とPRに着眼し、観光施設を活用した賑わい創出のためにはどうすればいいのを取り上げます。町の取り組みに足りないものや、「こうすべき」を一緒に考えましょう。



観光施設の利用料改正

町の観光施設である雪谷川ダムフォリストパーク・軽米とミレットパークに係る条例の一部改正を可決しました。両施設ともに、老朽化による一部施設の廃止とこれまで長い間据え置いていた利用料改正が主な内容です。ミレットパークのちびっこゲレンデや農園、テントや自転車の貸出は廃止になります。コテージの基本料金が4人用6千円、8人用9千円と大人一人2千円、小人一人千円が加算されることとなります。これまで附帯施設やエアコンなど、設備投資をしてきたものの料金改正です。



情報発信は十分？

SNSは発信力の高さに加えて情報の質も高めることができず。ターゲット層に適した発信媒体を容易に活用することができません。そのため、町のイベント情報の発信や集客にはSNSの利用が必要になります。町では広報誌やかまimai TVによる情報発信等ツィッターやインスタグラムを活用した情報発信を行っています。

軽米町公式 Facebook



軽米町公式 Instagram



軽米町公式 Twitter

ニーズに対応した イベントにできてる？

イベントの活性化には町内外からの集客が必要であり、行きたいと思わせる施設やイベントにしなければなりません。そのためにはPDCAサイクルは欠かせないものであり、来場者のニーズの把握も重要です。行政と議会が一体となってPDCAサイクルに取り組み、イベントを重ねる度により良いものにしていかねばなりません。

PDCAサイクルは必要不可欠

行事の活性化や更なる拡充に欠かせないのがPDCAサイクル。内容の評価と改善をし、いかに次回へつなげるかが重要になります。



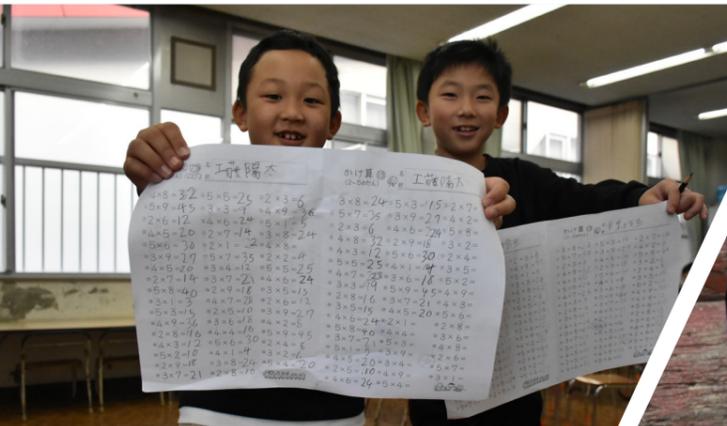
議会の視点

チューリップで賑わうフォリストパーク、太陽光の展望台も新たに設置されたミレットパーク、ともに町の最大の観光施設です。特別委員会では観光地への集客を行うための積極的な提言が相次ぎました。魅力あるパンフレットでのPR活動や地域おこし協力隊の活用、テントエリアに車が乗り入れできるようなオートキャンプ場の設置、ニジマス釣りの湧口クラブとの連携など、時代の要請に応じた変化を期待します。

令和4年度予算の

ここに注目！

町長5期目の最終年度となる令和4年度一般会計予算には、子育て支援や農業振興、賑わい創出に向けた多くの事業や補助金を予算化。集大成にふさわしい予算となったのか、我々の生活に関わる事業をピックアップして紹介していきます。



令和4年度当初予算

一般会計予算は **73億5200万円**

前年度比
1.2%増

平成15年から始まった山本町政は、今年度で5期目の最終年度です。

町の将来像である、

「一人一人の活力と思いやりが循環するまち」

を実現するため、令和4年度はどのような予算編成になったのか、私たちの暮らしに関わる事業をピックアップしてお知らせします。

山本町政5期目 最終年度が始まる



広報かるまい
4月号▼

軽米町議会
ホームページ▼



令和4年度の予算等は広報かるまいや議会のホームページでも見ることができます。

P8.9

地域振興

鳥獣被害

- 鳥獣被害防止対策支援事業費補助金
- 電気柵等設置補助金 [P9参照](#)

安全・防災

移住定住推進事業 **476** 万円

町の活性化

- 地域おこし協力隊推進事業 [P8参照](#)
- かるまい交流駅(仮称)整備事業 **11億6,009万円**

待望のイベント再開に向け

観光推進費 **1,886** 万円

〔チュールリップフェスティバル、フォトロケーション、食フェスタ、冬灯り等開催事業費補助金〕

生活環境

P6.7

子育て支援

- 妊産婦健康診査時交通費助成 **182万円**
- 軽米高校教育振興会支援事業 [P7参照](#)
- 児童生徒給食費無償化事業

安全・防災

消防小型ポンプ積載車整備事業 **1,348** 万円

町民の豊かな暮らし

- 飲用水確保対策事業 [P6、7参照](#)
- 高齢者ごみ出し支援事業

町道整備

町道6路線を整備 [P7参照](#)

生活環境



子育て支援日本一のまちは町が掲げる目標です



萩田2号団地町営住宅の建築工事は現在も行われています



支援事業により生徒数が増えることに期待しています



高齢者ごみ出し支援事業により利用者の負担軽減を目指します

注目事業 3

町が目指す
「子育て環境日本一」に向け

児童生徒給食費
無償化事業 **3,676** 万円

軽米高校教育
振興会支援事業 **1,564** 万円

ギカイの視点

安心安全な公園整備を

「子育て支援日本一」を目指している軽米町。子育て支援はとても大切です。いろいろある子育て支援の中で子育てママたちは、幼児から18歳までの医療費助成は助かると思います。

安心安全な公園整備に向けた検討とは。望んでいることは、そこにすべり台があるから楽しいと思える広場があれば…。子どもが喜んで遊んでいる姿を見ると、心が和みます。

注目事業 2

町民の豊かな暮らしと
安全を確保

公営住宅整備事業 **1億8,919** 万円

昨年度に引き続き、戸建て6棟の住宅を整備。

飲用水確保対策事業 **200** 万円

水道事業の給水区域以外の地域を対象に、40万円を上限として整備費用のうち補助対象費用の半額を補助。

町道整備事業 **9,819** 万円

赤石峠小玉川線、みそころばし竹谷袋線、参勤街道線、蛇口蜂ヶ塚線、板橋米田岡堀線、露岳開拓線を整備。

注目事業 1

高齢者のごみ出しは
玄関に置くだけに

高齢者ごみ出し支援事業 **1,160** 万円

介護認定を受けていて、ごみ出しが困難な高齢者のいる世帯を対象に、収集員が訪問しごみを回収する事業。高齢者世帯のごみ出しの負担軽減を図ります。

問 アンケートの結果を見ると緊急の課題ではないと考えるが、事業を始めると決断した理由は。

答 「例えばごみの収集員があなたのご自宅に訪問し、玄関先からごみを回収するのだったら利用したいですか」という質問に対し223件の回答。必要ないと回答した方が115人、利用したいという方が76人、分からないという方が34人だった。担当課としては福祉と連携しできるだけ早く対応しなければならない課題であるという認識のため、令和4年度の予算をお願いしたものの。

ギカイの視点

「必要ない」
の声も大事に

自宅に収集員が訪問しごみを回収してくれたら、ごみ出しは格段に楽になると思います。しかしアンケートの結果は、およそ半数が「必要ない」と回答。これまでにない高齢

者の負担軽減につながる事業だと考えますが、必要としない高齢者がいること、収集員の負担が増えること等を考慮し、慎重に事業を進めてほしいと思います。

地域振興



ホップの成長が完成に近づいている様子



近年ハクビシンによる農作物被害が増えています



えごま油はふるさと納税の返礼品にもなっています



軽米町を含む県北地域は木炭の生産量が日本一です



えごま畑の様子



物産品開発を通じて、軽米町との関係人口を増やしていきたいです。YouTubeでの活動紹介に力を入れ移住定住推進促進イベントや物産展など、積極的に参加したいです。
丸本順さん

仲間づくりと軽米の情報発信。町を盛り上げていくにはどうしたらいいのか。皆さんとの意見交換を積極的に行い、YouTubeチャンネルも立ち上げたいです。
菅野由喜男さん

注目事業 2

農業の多種多様な課題に町はどう向き合いどう解決するのか

鳥獣被害

鳥獣被害防止対策支援事業費補助金 **10** 万円

電気柵等設置補助金 **40** 万円

問 クマやイノシシ、シカを見たとき通報してもすぐ対応してもらえないのはなぜか。

答 有害鳥獣の被害は2つあり、農作物の被害については産業振興課の管轄。人的被害が発生する恐れがあるものは町民生活課の管轄。連絡があれば速やかに実態の調査を行っているものと思っていたが、今年度はお知らせ版やかるまいテレビを通じて、農作物の被害等について情報提供を求め、即現地を確認し対応できる体制を考えていきたい。

えごま産地拡大

問 町の特産品であるえごまについて実態を教えてください。

答 えごま生産は減少傾向です。課題解決に努め産地化を図り継続して支援したい。

木炭生産振興

問 県内でも有数の木炭産地と認識しておりますが、木炭生産者数について伺いたい。

答 現在木炭生産者は30名です。広域的な取り組みで後継者育成も含めた支援をしたい。

ホップ・たばこの減反

問 たばこの耕作生産者約30戸について、転作はピーマンを考えているのか。

答 二戸管内の推進品目がネギとピーマンになっているため、ピーマンを考えている。

問 たばこやホップの減反に伴う、軽米の農業政策の方向性について伺う。

答 軽米町工芸作物等生産振興事業費補助金ということで、堆肥や立枯病の補助ということで今年度も324万円の助成を検討している。今後も農家が少なくならないよう、継続して支援したい。

注目事業 1

今年度はさらに4人の追加を目指す

地域おこし協力隊推進事業 **2,602** 万円

これまでは2人の地域おこし協力隊を採用し、町の発展に努めました。今後はどう活動していくのか。2人の意気込み取材しました。

ギカイの視点 町の活性化へ 有効的な採用を

地域おこし協力隊は、現在2名の方が産業開発やミル・みるハウスで新商品の開発と経営の改善に奮闘しています。隊員は、募集の仕方によっては全国各地から来てもらえます。軽米の魅力を十分に発信し、軽米に来てもらい、着

任された方の特技や個性、経験を生かし、地元の人には分からない、気が付かない軽米の良さを発見・発掘してもらい、新しい発想で地域おこしをしていただきたいと思います。就任後はできれば移住し、軽米に住んでもらいたいです。

白熱した討論を経て 令和4年度予算を可決

農業委員10人に同意

次期選任に向けた 取り組みに期待

農業委員10人の任命に係る同意案が提案され、全員賛成で同意しました。

農業委員には15人の応募があり、審査委員会（委員長：総務課総括課長）で審査し、地域割や認定農業士を優先しながら10人を選任した。質疑では、「女性の登用はないのか」「若い年代層への働きかけはしなかったのか」などが出され、「次期への取り組みを検討する」と答弁されました。



広報かるまいHP ▶
農業委員10人の紹介は、広報かるまいに掲載しています。

3月25日開催 第28回臨時会

保健推進員謝礼 ▲120万円

新型コロナウイルス感染拡大により、活動ができなかったため減額するもの

公務災害 ▶789万円

公務災害とは…
公務員が通勤中や公務中に発生した怪我や病気のことをいいます。

第28回臨時会は3月25日に開催され、一般会計補正予算（第9号）を賛成多数で可決しました。保健推進員謝礼の減額について本会議場では、「地域住民の健康づくりのため保健活動や予防活動が円滑に行われるように活動してきた。保健推進員を引き受ける地域がないということだが、話し合いながら対策していくべきである。」との反対討論がありました。

国民健康保険特別会計 賛成10人 反対1人

反対 子どもへの短期保険証の発行は
すべきではない

国保の負担軽減のための一般会計からの法定外繰り入れは、国保以外の制度加入者に理解を得られないという論理を示す人もいるが、子どものいない人には子育て支援は理解してもらえないというのと同じ。保護者が滞納していて、子どもにも短期の保険証を発行するのは、子どもには納税責任がないためやめていただきたい。

江刺家静子

介護保険特別会計 賛成9人 反対2人

反対 介護事業所の存続と拡充、
職員の処遇改善を

団塊の世代が後期高齢者となり、在宅介護を利用する人たちが増えていくことが予測される。保険料を払って介護を受けられないことがないよう、介護の充実を求めたい。また、介護事業所の存続と拡充、職員の待遇改善を求めたい。

江刺家静子

後期高齢者医療特別会計 賛成9人 反対2人

反対 町民の生活と健康を守るため
町として声をあげては

保険料の引き上げや10月からの医療費窓口負担2倍化が盛り込まれ、前年度より22.1%増えている。町民の生活と健康を守る立場から、低所得者の保険料負担軽減について、国や広域連合に声をあげていただきたい。

江刺家静子

賛成 公平・公正と
制度の安定化に努力

岩手県後期高齢者医療広域連合が定めた取り扱いに基づき、県内統一された制度運用で、増加し続けている社会保障費の中、将来に向け制度の安定化に努めている内容。後期高齢者医療保険料の公平・公正と、制度の安定化に一定の努力が見られる。



たむら せつ 田村 せつ

一般会計

賛成8人 反対3人

反対 会計年度任用職員の
処遇改善を

正規職員が担ってきた職務を会計年度任用職員が担っている。労働条件など、職員の給与を含めた職員体制等の改善を求めたい。

かるまい交流駅（仮称）整備事業については、町民に対する説明が不足している。また、県医療局との関係が悪化するのではないかと心配する。

ジェンダー平等の観点から、農業委員会の委員や再生可能エネルギー推進委員会、選挙管理委員など、女性の声を活かすために女性委員の登用を求めたい。



かるまい交流駅（仮称）建設工事の様子

反対 事業費の見直しと
検証をすべき

かるまい交流駅（仮称）の建築について、建設予定地の突然の変更や医療廃棄物の出土などトラブルが続いた。町の計画書によると、令和5年の完成までに総額32億3千万円の予算が必要と予測される。この事業の進行は次世代の負担となり、財政の硬直を招くことが心配される。事業費の見直しと、検証を行うべき。

賛成 住民と議会、
行政が一体に

かるまい交流駅（仮称）については、想定外の要因で工事が遅れたが、4年度は完成に向け形も見え、完成に向けて推進することは大変喜ばしい。今定例会での一般質問等での当局の説明から、開館に向けての取り組みが進められていることが十分伺える。厳しい財政状況の中、町民の声を聞き、住民と議会、行政が一体となって町づくりを進めることを期待する。

ギカイの視点

議会と町民への 説明を第一に

かるまい交流駅（仮称）建設事業や町道整備など、町民待望の事業が多数進行しており、多くの町民が注目しています。進捗状況はどうか。早期の供用開始に期待が高まる半面、問

題なく進行するの不安もあります。そういった不安解消のため、広報かるまいやかるまいテレビを活用した情報発信をし、町は町民や議会に対する説明責任を果たしてほしい。

第27回定例会 8人が登壇

一般質問

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・同一項目についての再質問は2回までできます
- ・時間の制限はありません

- ・地域農業マスタープランの実効性の確保
- ・町の消防、防災体制の充実



かみやま まこと
上山 誠
(14 ページ)

- ・農業委員会の意見書



にしだて とくまつ
西館 徳松
(15 ページ)

- ・居場所「トコかる」



たむら せつ
田村 せつ
(16 ページ)

- ・一般県道二戸軽米線の整備
- ・かるまい交流駅（仮称）完成後の運営



ちやや たかし
茶屋 隆
(17 ページ)

- ・議会採択の請願・陳情案件の取り組み
- ・自主防災組織の活動
- ・交流駅医療廃棄物費用負担の岩手県との協議状況



なかむら まさし
中村 正志
(18 ページ)

- ・新型コロナ対策
- ・地域特産振興



ほそや ちたもん
細谷地 多門
(19 ページ)

- ・歴史ある、軽米「市」への支援
- ・交流駅事業中、代理弁護士を介し負担を求めている件



やまもと ゆきお
山本 幸男
(20 ページ)

- ・国民健康保険税と短期保険証
 - ・再生可能エネルギー開発と自然保護
 - ・会計年度任用職員の給料引き上げ
- ほか3項目



えがしらかしずこ
江刺家 静子
(21 ページ)

＜3月定例会＞

採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
同意案①	固定資産評価審査委員会の委員の選任〔本田 芳廣氏＝観音林南、新任〕	
同意案②～⑪	農業委員会の委員の任命 〔②西館聡氏＝蛇口、③笹山結実男氏＝新井田、④福田光雄氏＝上野場、⑤安田正一郎氏＝上河南、⑥木村正司氏＝荒町、⑦苅谷雅行氏＝苅敷山、⑧下谷地敦雄氏＝下谷地渡、⑨畑林悦男氏＝屋敷、⑩山田一夫氏＝仲軽米、⑪細谷地司氏＝高柳〕	同意 (全員賛成)
諮問①	人権擁護委員の推薦〔田頭トヨ子＝荒町、再任〕	適任 (全員賛成)
諮問②	人権擁護委員の推薦〔中野武美＝下河南、新任〕	
報告①	専決処分事項の報告〔公用車による物損事故の損害賠償の額の決定と和解〕	—
議案①	軽米町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正 〔「妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置」等の実施のため、改正するもの〕	
議案②	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 〔「妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置」等の実施のため、改正するもの〕	
議案③	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 〔「妊娠・出産・育児等と仕事の両立支援のための措置」等の実施のため、改正するもの〕	
議案④	軽米町税条例の一部改正 〔全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の改正に伴い、改正するもの〕	可決 (全員賛成)
議案⑤	へき地保育所設置条例を廃止〔笹渡保育園閉園により、へき地保育所を廃止するもの〕	
議案⑥	軽米町ミレットパーク設置及び管理に関する条例の一部改正 〔施設の入場料や利用料を改正〕	
議案⑦	雪谷川フォリストパーク・軽米設置及び管理に関する条例の一部改正 〔施設の入場量や利用料を改正〕	
議案⑧	令和3年度一般会計補正予算（第8号）〔2億7109万8千円減額し、71億1574万3千円〕	
議案⑨	令和4年度一般会計予算〔歳入歳出総額73億5200万円〕	可決 (賛成多数)
議案⑩	令和4年度国民健康保険特別会計予算〔歳入歳出総額11億656万円〕	
議案⑪	令和4年度下水道事業特別会計予算〔歳入歳出総額1億889万3千円〕	可決 (全員賛成)
議案⑫	令和4年度介護保険特別会計予算〔歳入歳出総額2688万7千円〕	可決 (賛成多数)
議案⑬	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算〔歳入歳出総額1億2391万5千円〕	
議案⑭	令和4年度水道事業会計予算 〔収益的収入3億3739万2千円、同支出3億3553万6千円〕 〔資本的収入8576万4千円、同支出2億9708万8千円〕	可決 (全員賛成)
発議案①	ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議 〔国際秩序への挑戦ともいえる今回のロシアによる軍事敵暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明し、即時の攻撃停止と完全撤退を求めるもの〕	可決 (全員賛成)



かみやま まこと
上山 誠

今後の農業振興施策

問 本年度の取り組みは

町長 農地の出し手と売り手のマッチング

問 地域農業マスタートープランの取り組み状況は。

【町長】 令和元年度から2年度にかけて工程表の作成や農業者へのアンケート調査、農地利用図を活用した地域での話し合いを行い、令和3年3月に地域農業マスタートープランとして公表した。

問 地域農業マスタートープランの取り組みを進める上での課題と、今後の取り組みは。

【町長】 高齢化等の理由により耕作放棄地の増加が見込まれることから、地域の中心となる経営体へ集積していくことが喫緊の課題。今年度は、貸したい・売りたい意向があった農地について、現地確認を実施し、利用可能かどうかの仕分けを行う。



国・県の補助事業の周知が必要です



▲地域農業マスタートープランとは(県HP)

う。今後は農地の出し手と受け手のマッチングを進めたい。また、現在国では人・農地などの関連施策の見直しを行っており、地域農業マスタートープランの法定化や目標地図の作成等が検討されている。国の動向を注視しながら取り組みを進めたい。

町の消防、防災体制の充実

問 団員確保の取り組みは

町長 消防団各部の直接勧誘が効果的

問 減少傾向の消防団員確保の町としての取り組みは。

【町長】 ポスターの掲示や広報活動を行っていき、地域コミュニケーションを通じた直接勧誘が最も効果的な取り組みであり、消防団各部において鋭意対応していただいている。

問 自主防災組織結成を支援しているが、今の現状は。

【町長】 結成に必要な経費や組織の活動に関わる経費、自主防災組織を結成し研修や訓練等の活動を実施した場合の経費的な助成制度を通じて結成活動を支援している。



消防団員の確保は喫緊の課題です

問 農委事務局体制の充実を

町長 現体制を維持し町民の要望に応える

問 女性農業委員の登用に取り組むこと。多様化する農業委員会事務に対応した事務局体制を充実・強化すること。農地の現地調査を安全かつ確実にを行うため、ドローンの活用に取り組むこと等を提言したが、町長の考えは。

【町長】 男女共同参画推進の観点から各関係機関から、女性委員の登用について意見をいただいたが選出には至らなかった。次期改選時に向け、女性委員枠など独自の基準等の設定についても検討したい。事務局職員については、現在の産業振興課内で6名の正職員が兼務し、会計年度任用職員1名の体制で業務にあたっている。今後同様の体制を維持し、町民の皆様の要望に応えたい。ドローンの導入について考えているが専用車両については、使用頻度や利用形態等を考慮しながら検討していきたい。



にしだて とくまつ
西舘 徳松

農業委員会の意見書

問 耕作放棄地発生防止へ支援を

町長 地域の実情に合った支援制度の活用を推進

問 担い手が積極的に農地集積を進め、持続的に営農ができる環境づくりを進めること。集落ごとの10年後・20年後の将来ビジョンについて構築していくこと等を提言したが、町長の考えは。

【町長】 町内外の状況や情報を的確に捉えながら、中核となる担い手と意欲ある新規就農を希望する方々が、農業経営を安定かつ継続していけるよう支援したい。農地の出し手と受け手への町独自の助成制度は、既存の国・県の支援制度があるため、財政状況等を勘案し、農地の集積・集約化につながる仕組みを考えた。

問 農業者の意見を踏まえ、耕作放棄地の発生防止のための支援策を早急に講

ずることを提言したが、町長の考えは。

【町長】 国及び県単事業の活用等、地域の実情に合った支援制度の活用を努めたい。また、引き続き地域農業マスタートープラン実践の取り組みの中で話し合いを継続し、地域と一緒に将来ビジョンを描いていきたい。農地に関する貸借相談や受け手の確保は、今後も農業委員会と連携して対応していきたい。



担い手不足と耕作放棄地の増加は深刻な問題です



一般県道二戸軽米線の整備

問 現時点の進捗状況を示せ

町長 用地測量と物件調査を実施中



一般県道二戸軽米線は、町が県に対し何度も拡幅工事を要望していた路線です

問 現時点での進捗状況と今後の計画は。
町長 令和3年5月25日の用地の地権者及びその隣接地権者への説明会では異論がなく、説明会のおり事業を進めることとし、現在は用地測量と物件調査を実施中。県の担当者からは、4年度からは用地買収及び物件交渉を進めたい。また、

問 町民に対し、今後の計画について早急に説明が必要と思うがいかがか。
町長 今後、より正確な情報が入りしだい情報提供し、早期に供用開始できるよう推進していきたい。

かるまい交流駅（仮称）完成後の運営

問 町民が縦割に縛られることなく町を活性化させる多くのアイデアを描き、横断的

問 行政や議会、町民が縦割に縛られることなく町を活性化させる多くのアイデアを描き、横断的



町の活性化と賑わい創出につながる施設の活用方針に注目です

問 完成後の運営と活用は
町長 運営検討会議で意見を収集



居場所「トコかる」

問 町としての支援を期待する

町長 要望を聞き、前向きに支援していきたい

問 町のチャレンジ事業支援金は3年間で終了するが、その後はどのような支援を考えているか。
町長 スタートアップ事業とステップアップ事業の2つがあり、活動開始から3年間はスタートアップ事業。交付金は対象経費の3分の2以内、上限は50万円。その後はス



写真は、市日でのバザーの様子

問 町は居場所「トコかる」の必要性についてどのように考えているか。
町長 子どもから高齢者まで、すべての方が気軽に集える場所。また、広い世代の人との交流や町内の一人暮らしの高齢者、障害者や引きこもりの方など、住民どうしの様々な助け合いにつながる拠点として重要であると認識している。

問 テップアップ事業の活用となり、社会性が高いと認められる事業に対し対象経費の2分の1以内で上限は40万円、申請回数に制限がないものとなっている。居場所「トコかる」の活用は、居場所づくり実行委員会と連携を図りながら支援していきたい。

問 コロナの影響により今は開所できない状態。また、行きたくても高齢者は移動が困難。施設の現状を見れば、水道はなくトイレは水洗ではないなどいろいろ課題はあるが、少しでも解決し、今後充実した運営が継続していくよう、

町として支援することを強く要望する。
町長 意欲的なボランティアの方々が積極的に対応していることに改めて敬意と感謝を申し上げます。今後とも要望を聞き、どのような支援があるかをしっかり考えながら前向きに支援していきたい。



利用者が利用しやすい施設にするための支援が必要です



なかむら まさし
中村 正志

議会採択の請願・陳情の取り組み

問 要望路線の町道認定は

町長 認定までの流れを説明

問 「軽米小学校裏の生活道路の町道認定及び拡張整備」について、これまでの取り組み内容と新年度の課題解決に向けた取り組み方針は。

町長 令和4年2月20日に町内会の方々が役場を訪れ、要望の趣旨を説明いただき、町道認定までの流れを説明した。今後は地元関係者の合意形成を図っていただき、町は道路の基準や構造等の情報提供をしていく。

問 平成30年6月13日付けで採択された「町道上野場名川線と農免農道観音林地区までの道路についての町道認定」について、今後どのような取り組みをするか。

町長 令和2年度に道路に隣接する地権者の方々から、要望路線



早期の町道認定と安心安全な町道整備が求められています

の一部を受益者が整備し、道路部となった用地を寄付したいとの申し出があり、受益者が関係機関と協議。町では構造的なアドバイスをし、整備した道路と用地を町が受託することで進めていた。今年2月に、新たに道路用地となった土地の所有権移転登記が完了。今後は町の道路として有効に活用したい。

自主防災組織

問 防災士の取得状況は

町長 2月末で16人が取得

問 各地域の組織の設置状況や防災士の資格の取得状況、組織の活動状況は。

町長 令和4年2月末現在で自主防災組織は11組織、防災士の資格取得者は16人となっている。地域活動費補助金を活用し、消火訓練や炊出し訓練、除雪機での高齢世帯の除雪作業等が行われている。

交流駅医療廃棄物費用負担の岩手県との協議状況

問 12月以降の協議状況は

町長 賠償請求への回答待ち

問 12月27日開催の第26回臨時議会の特別委員会での説明後、岩手県との協議状況はどうなったか。

町長 令和4年1月17日付けで県医療局に、県立軽米病院の廃棄物埋設行為に関する賠償請求についての通知文書を法律事務所から提出。これに対し、検討にかなりの時間を要するため書面による回答を2月末まで待つてほしい旨の電話があったとの報告をいただき、現在は県医療局からの書面による回答を待っている状況。

地域特産振興

問 漆の外国産輸入割合は

町長 約95%を外国産に頼っている状況

問 国産漆は深刻な供給不足に直面していることから、現在の国内消費量に対する国内生産量割合と外国産輸入割合はどのような状態か。

町長 漆の生産面積は拡大しているが、令和2年度の国産漆の生産量は2050キロ、国内の生産割合が4.9%であり、約95%を外国産漆に頼っている状況。



日本の漆掻き技術は、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています

問 漆生産拡大で今後の地域振興を考えると、二戸広域全体で対応・検討する取り組み姿勢が重要ではないか。

町長 岩手県産の漆は、国内産の約8割近くを生産しており、その大半が二戸市で生産され、その品質は文化財の修復関係や漆器生産者からも高い評価を受けている。しかし、深刻な担い手不足や手入れの行き届かない漆林の増加など、多くの不安材料を抱えていると聞く。今後、二戸広域全体で対応検討していくことが重要であると認識している。



ほそやちたもん
細谷地多門

新型コロナ対策

問 町内の経済面への影響は

町長 飲食業等、業種によって影響は大きい



今後もコロナウイルス感染拡大による影響が予想されるため、行政による支援の継続が必要です

問 新型コロナウイルスの感染拡大により、町内の経済面に及ぼしている影響や実態について伺う。

町長 住民税の課税額を見ると、感染症の影響がまだない令和元年度の収入等により算定された令和2年度の課税額と、全国的に感染が拡大した2年度の収入等により算定された3年度を比較する

と、個人住民税と法人住民税ともに若干の増となり、経済全体への影響はあまり大きくない。一方で、令和2年度と3年度事業の事業者等緊急対策支援事業への申請状況を見ると、飲食業を中心に、前年から20%以上の減収となっている業種もあり、業種によっては影響が大きかったと思われる。



えさしかしずこ 江刺家静子

国民健康保険税と短期保険証

問 子どもの均等割全額免除を

町長 国・地方の取り組みとして今後も注視

【町長】 税負担の公平性を確保するため、滞納処分や短期保険証の発行は一定の効果がある。短期保険証の更新時に対話を通じて生活実態を把握し、分割納付など納税者の状況に応じた納付計画で未

【問】 短期保険証の発行と保険証未交付の是正を。

【町長】 一般会計から繰り入れ等で子ども均等割全額免除を求めるがいかかがか。【町長】 国民健康保険税の減免は地方税法で、天災その他特別の事情がある場合に条例に定め減免できる。18歳未満の減免については、地方税法の趣旨と子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、国・地方の取り組みを注視していきたい。

再生可能エネルギー開発と自然保護

問

積立の確認をしているか

町長 事業者から報告を受け適切に指導



こどもの均等割免除は、子育て世帯の負担軽減につながります

納解消につなげていく。保険証の受領に出来ない方に対し、一定の期間経過後に保険証を郵送し、医療機関受診を妨げないよう配慮している。

【町長】 「再生可能エネルギー推進による農山村活性化計画」に、環境保全や災害防止等

【問】 自然破壊を防ぐため、「メガソーラー規制条例」を制定してどうか。

【町長】 「再生可能エネルギー推進による農山村活性化計画」に、環境保全や災害防止等

【問】 発電事業者は、設備を撤去するための資金積立が義務化されている。積立を確認しているか。

【町長】 業者は発電設備計画に事業終了後の撤去費用を積立することになっているため、報告を受け適切に指導してまいりたい。町と原状回復の協定を締結しており、事業者側で撤去や現状復旧することとなっている。

歴史ある、軽米「市」への支援

問 出店者へ支援してはどうか

町長 自主的な商売であり、現在のところ考えていない



やまもと ゆきお 山本 幸男



市日のは町内各地からの多くの買い物客で町中心部は賑わいます

【町長】 町で開かれている市日は、町外の個人事業者が個人所有の土地を借りて自主的な商売として行っているものであり、行政の課題や対策として捉えておらず、出店者への支援等は現在のところ考えていない。

【問】 市日のは町民バスの回数を増やしてはどうか。【町長】 同一の日に町内全域で一斉にバスを運行させることは難しいと考え、現在は考えられていない。中心商店街の賑わい創出の観点から、町内事業者が市日に合わせて企画を立案し、行政として支援が必要となった場合は前向きに検討したい。

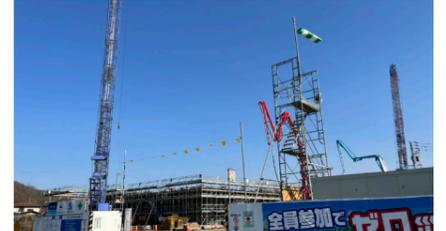
交流駅事業中、代理弁護士を介し負担を求めている件

問

県との交渉を終了しては

町長 交渉は町民に的確な説明をするため

【問】 県立軽米病院は町民の命と健康を守る施設であり、県と町が一緒になって造った施設であるため、弁護士を介して交渉し解決する方法はなじまない。知事または医療局長にお願いし、回答の有無に関わらず県との負担の交渉を終了してはどうか。



かるまい交流駅（仮称）建設工事の様子

【町長】 県医療局との打ち合わせで、町が予算を確保し、撤去処分を行ったあとでその経費について医療局が負担する方法が最善という医療局の提案により進めたもの。2回目の陳情に対し、医療局に直接負担を求める法的根拠を示すよう回答があったことから、専門的な知識を有する盛岡市の北奥法律事務所に交渉に関わる一切の件について委任。その目的は、提訴を目的としたものではなく、双方が見出している妥協点というもの。そうすることで経費の負担の割合に関わらず、法律的な見地に基つき町民にも的確な説明ができるかと判断した。

会計年度任用職員の給料の引き上げ

問

給料の引き上げを

町長 情報を注視し対応を検討

【問】 新型コロナ対応最前線で働く介護・保育等の会計年度任用職員の収入を引き上げるための国の予算が成立している。対象となる職員の給料の引き上げを求める。【町長】 要件を踏まえ、他の職種とのバランスも考慮された給与体系であると考えているが、今後の国や県からの情報等を注視し、対応を検討していきたい。



全国町村議会議長会表彰受賞

山本 幸男

議会活動を通じて、地方自治の振興発展に大きな役割を果たした方を、岩手県町村議会議長会会長の推薦により表彰するもの。50年以上在職し、功労のあった議員へ「名誉町村議会議員」の称号を与え表彰し、全国町村議会の議員会館に写真が掲額されます。

Q 受賞しての感想は？

A 名誉議員の称号をいただいて大変と恐縮している。これからも頑張らなければいけないと思っている。初当選は26歳。26歳でよく立候補したものだと思っている。町の皆さんに感謝です。

Q プロとして若い議員に伝えたいことは？

A 町議会議員というのは、町政と離れて検証するのが議員の役割であると思っている。町内を歩いてみたり、昔話をしながら町民の声を聞いて歩いてほしい。

表彰

50年にわたる議員活動に「名誉町村議会議員」の称号が

我が家のアイドルを紹介します

マイファミリー vol.3



「仲よし4人兄弟」

長女 ^{かねた さき} 兼田 咲希 ちゃん [10歳]

長男 ^{えいた} 栄太 くん [8歳]

二女 ^{あんり} 杏莉 ちゃん [6歳]

三女 ^{いお} 依桜 ちゃん [4歳]

父：兼田 翔太さん 母：亜希子さん
行政区：沢田

パパ・ママからの一言

「いつまでも仲良しきょうだいでいてね」

皆さんからの応募をお待ちしております

このコーナーの出演者(概ね6歳以下)を募集しています。応募はお近くの町議会議員への問い合わせか、議会事務局へのメールをお願いいたします。メールには、件名「マイベイビー応募」、氏名(親・子)、住所、電話番号、パパ・ママからの一言を記載し、写真(撮影を依頼する場合はその旨を記載)を添付しご応募ください。

応募先：gikai@town.karumai.iwate.jp

議会のはてな？

しくみを教えて！②8

どうろん 討論

討論とは

討論とは、議案に対して自己の賛成又は反対の意見を表明することであり、理由を明確に述べながら、賛否を論議すべきものです。

一人一回の原則

討論の回数は、「討論一人一回の原則」で、同一議員が同一議題について、一回限り賛否の意見を述べる事ができません。

討論の順序

討論の順序は、「討論交互の原則」により、会議規則で「議長は、最初に反対者に発言させ、次に賛成者と反対者を、なるべく交互に指名して発言させなければならぬ」と規定。反対者がいない場合の賛成討論は行わないのを例としています。

特選

岩手県議会広報コンクール「特選(一位)」を受賞



研修と視察の成果

私たち議会報編集常任委員は6人で構成されて頑張ってきました。町民の皆さんに読んでほしいという気持ちで、研修を重ねたり先進地を視察して、今回このような賞をいただいて大変嬉しく思います。 委員長：田村せつ

意味のある広報誌に

町民の皆さんに読んでもらえないと意味がないため、取材をしながら議会報に興味を持ってもらうと努力した。特別委員会での議論も盛り込み、少しでも議会で議論した内容を皆さんにお届けしていきたい。 副委員長：中村正志

令和三年度の岩手県町村議会広報コンクールで、第一位相当の特選を受賞しました。コンクールでの受賞は29年度の入選一席以来三年度目の受賞。審査では、余白の使い方が秀逸、分野ごとに明確化した紙面など、評価されました。 今後も町民の皆様の手にとってほしい、読みやすく分かりやすい広報紙づくりに努力していきますので応援よろしくお願ひします。

